

リサイクル計画書(概略設計・予備設計)

1 事業(工事)概要

発注機関名	
事業(工事)名	
事業(工事)施工場所	
事業(工事)概要等	
事業(工事)着手予定時期	

2 建設資材利用計画

建設資材	利用量	現場内 利用可能量	再生利用可能量	新利可能量	再生資源 利用率 ( $\frac{+}{+}$ ) / $\times 100$	備考
土	地山 $m^3$	地山 $m^3$	地山 $m^3$	地山 $m^3$	%	
砕石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	発生量	現場内 利用可能量	他工事 への搬出 可能量	再資源化 施設への 搬出可能量	最終 処分量	現場内 利用率 ( $\frac{+}{+}$ ) / $\times 100$	備考
建設発生土	地山 $m^3$	地山 $m^3$	地山 $m^3$		地山 $m^3$	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン		%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン		%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン		%	
取りこわし建物	件						

地図、航空写真、踏査等から検討する。

利用可能量等は、現時点で算出可能なものとする。

建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。